

24時間シートの活用と課題

「なぜうまく24時間シートを活用できないのか？」

社会福祉法人 大須賀苑
特別養護老人ホーム おおすか苑
水野 俊永

社会福祉法人 大須賀苑

特別養護老人ホーム おおすか苑

概要

<法人基本理念>

利用者一人一人がその人らしく
自立した生活を営むことができるように支えることを目指す。

<事業内容>

従来型：平成4年5月開苑
定員50名
ユニット型：平成15年10月増設
定員30名



取り組んだ課題

利用者の方主体の24時間シート作成

最初に取り掛かった当苑での24時間シートは、職員自身はその意義や目的も理解していず、利用者の方達の好みや意向といったことが全く加味されていない、職員主体で作成されたものであり、作成後も全く利用されることはなかった。

24時間シート

時間	私の生活リズム	できること	ケアサポート	リスク
7:30	起床	起床	手洗い・顔洗・歯磨き	
	朝食	自分で食べる	スリッパの着用と脱着の介助	転落
	日替	うがい	洗面室での日替のサポート	
	洗濯	洗濯	洗濯機での洗濯のサポート	
	髪剪	ヘアトリートメント	カット・トリートメント	
9:40	トイレ移動		介助	転落
9:00	朝食	自力摂取	エプロンをつける 箸・飲みこみのお手伝い 箸の希望するお茶を飲む	誤嚥
			箸の希望するお茶を飲む 見守り、手拭き、傘の貸出	
9:100	着床・日替	うがい	着床のサポート 洗面室での日替のサポート	転落
10:00	洗濯・髪剪		カット・トリートメント	

平成21年12月1日に行われた県老人福祉施設協議会主催によるユニットケア研修『24時間シートについて』に参加し、ユニットケアの理念である《**これまでの暮らしの継続を保証すること**》、そのための手段として24時間シートを活用していく必要性を学んだ。当苑ではいかにすれば利用者の方達主体の24時間シートを作ることができるかを検討し、作成することにした。

具体的な取り組み

《まずはユニットリーダーに理解してもらうために》

- ◆平成22年4月より月一回ユニットリーダーの集まる会議で、『利用者の方主体の24時間シート作成』を議題として取り上げ検討。
- ◆24時間シートの目的と要点について理解。
- ◆書式の様式・聞き取り項目の設定。
- ◆作成の手順の決定。

具体的な取り組み

◆24時間シートの目的と要点について理解。

◎作成の目的

今までの集団ケアから、入所者一人一人の個性と生活のリズムを尊重した介護を行う個別ケアというより質の高い介護が求められるようになってきた。

今回24時間シートを作成するにあたり、各職員は自分の担当する入所者が、どんな人か・求めていることは何か・要求にどう応えるか等を、もう一度よく考えて作成し、入所者の方たちが「自分の住まいと思えるような環境作り」を目指す。

◎作成のための要点

・集団ケアから個別ケアへ

今までの集団ケアの要素をできるだけ排除し、施設に入所した高齢者に対し、そこでの生活を限りなく在宅に近いものにし、それぞれの利用者の意思と自己決定を尊重したケア(個別ケア)を実現する。

・ケアの原則

自立支援、自己決定、残存機能の活用を重視。

・職員主導の24時間シートから利用者主導へ

あくまで利用者の生活ペースを尊重し、職員の業務スケジュールでない日常とする。対象は「利用者」と「利用者の暮らしのペース」であり、職員はそれを見守り支えていく。

・チームケア

24時間365日チームでケアし、ケアの差で暮らしが変わらないようにする。

具体的な取り組み

◆書式の様式・聞き取り項目の設定

◎書式の様式

◎聞き取り項目の設定

聞き取り項目	
週は何回に一回ですか？	
起きてから1番にしたいことは？	
起きてから、寝るまでのように過ごされるのか？	
カーテンは(何時・どのタイミングで)開けるのか？	
電気は(何時・どのタイミングで)つけるのか？	
寝るまえはいつするの？	
好きな歌の曲名は(色・種類・原曲など)？	
寝ては寝く？	
寝の直前は(服着脱・朝食後)？	
口顔の仕方は？	
洗面はいつしますか？	
髪髪はいつしますか？	
床 起きて寝たい物はありますか？いつのペースで？	
床 寝るまで寝たい物はありますか？いつのペースで？	

具体的な取り組み

◆作成の手順の決定

1. 書式準備

・3種類のシートから担当者に合った方を選ぶ。

2. 記録物からの情報収集

・サマリー・フェースシートから読み取れる情報を収集。
・既に入居してる場合、過去の記録から読み取れる情報を収集。

3. 入居者本人・家族からの聞き取り

・聞き取り項目を参考に聞きとる。

・重度化・認知症の方の場合には家族から話を聞く

4. 24時間シートへ記入

・集めた情報を24時間シートの所定の項目に記入。

5. ミーティング等での意見交換

・ユニット職員等からの意見を反映。

・看護師・栄養士からの意見を反映。

活動の成果と評価

- ◆出来上がった24時間シートは・・・
- ◎意向や好みも取り入れ、一応は利用者の方主体の24時間シートの形にはなった。

24時間シート

※1.1 (一般名称)

※2. 職員、利用者、両方から意見をとり、本人(要介護者)主体にする。【どうやって生活していくか、どうやって生活したいのか】

※3. 本人の意向を優先し、職員は必要に応じてサポートする。

項目	本人の意向	職員の意向	両者の意向
起床	起床の時間、起床の場所、起床の服装	起床の時間、起床の場所、起床の服装	起床の時間、起床の場所、起床の服装
朝食	朝食の時間、朝食の場所、朝食のメニュー	朝食の時間、朝食の場所、朝食のメニュー	朝食の時間、朝食の場所、朝食のメニュー
活動	活動の時間、活動の場所、活動の内容	活動の時間、活動の場所、活動の内容	活動の時間、活動の場所、活動の内容
入浴	入浴の時間、入浴の場所、入浴の方法	入浴の時間、入浴の場所、入浴の方法	入浴の時間、入浴の場所、入浴の方法
食事	食事の時間、食事の場所、食事のメニュー	食事の時間、食事の場所、食事のメニュー	食事の時間、食事の場所、食事のメニュー
就寝	就寝の時間、就寝の場所、就寝の服装	就寝の時間、就寝の場所、就寝の服装	就寝の時間、就寝の場所、就寝の服装
その他	その他の時間、その他の場所、その他の内容	その他の時間、その他の場所、その他の内容	その他の時間、その他の場所、その他の内容

活動の成果と評価

- ◆24時間シートの目的から考えると・・・
- ◎情報を入手しやすくなり、環境作りをする努力をしやすくなった。
- ◎他施設から来た方も、在宅時に近い環境に変更するように考えられるようになってきた。
- ◎利用者の方達も職員も現状に慣れてしまっている。
- ◎個別ケアへの思いはあるがと集団ケアが混在していることに気づいていない。

活動の成果と評価

- ◆ユニットリーダーの反応は・・・
- ◎目的をうまく伝えることができなかった。確認もしてなかった。
- ◎出来上がったことで安心してしまい、その後のチェック、アクションがなかった。
- ◎24時間シートが出来上がったから、ユニットリーダー会議では毎月の反省だけで終わっていた。

活動の成果と評価

- ◆職員の反応は・・・
- ◎個別ケアへの意識が強まった。
- ◎24時間シートを見なくてもある程度ケアを統一することが可能である。
- ◎職員自身が24時間シートの目的を理解していない。
- ◎業務主体の24時間シートの考え方に近くなっている。
- ◎ケアプラン作成の時に同時に更新していくよう決めてあったのだが、行われていない。(ケアプランと連動していない。)

今後の課題

- ◆ユニットリーダー会議にて
- ・ユニットリーダーの理解の統一(各職員への説明の統一と確認)
- ・職員の意識の問題(24時間シートの目的の理解)
- ・どの部分が集団ケア要素なのかを明確にしていく。
- ・問題点や改善すべき点。

今後の課題

- ◆職員が行うべきこと
- ◎ユニットリーダーからの説明を理解し、わからない時は質問をする。
- ◎ケアプラン作成のときには、必ず24時間シートの見直しも行うようにする。
- ◎パソコン操作を勉強する。

今回の課題を今後に生かし、より良い
個別ケア、より良い24時間シートにし
ていきたいと思えます。

御静聴ありがとうございました。